

系 統	アミン化合物からなる硬化促進剤
特 長	5℃以下での施工が可能。
用 途	レールリペア用の硬化促進剤
荷 姿	90g (プッシュ式容器)
配 合 比	主 剤 : 硬化促進剤 : 硬化剤 : 増粘剤 = 300 : 3* : 10 : 6 (重量比) ※プッシュ式容器: 1回の吐出量が約1g、約70回分 (レールリペア約20本分)
外 観 性 状	淡黄色透明液状

可使時間の目安
硬化時間の目安

レールリペア 硬化促進剤を添加したときの可使時間・硬化時間の目安

温 度 [°C]	-5	0	5	10
可使時間 [分]	45	30	20	15
硬化時間 [分]	70	40	30	20

比 重 (硬化物)	0.75~0.95
品質保証期間	24か月 (未開封、冷暗所保存)
消防法による 区 分	危険物 第4類 第1石油類 水溶性
毒物及び劇物 取 締 法	該当しない

使用 方法
(増粘材未使用時)

- 1) 使用する直前にアルミパックから主剤と硬化剤を取り出す。
- 2) 主剤のキャップを外して、3プッシュ硬化促進剤を添加する。
- 3) 主剤のキャップをしっかりと閉めて、1分間ボトルをよく振る。
- 4) 主剤のキャップを外して、硬化剤を添加する。
- 5) 主剤のキャップをしっかりと閉めて、1分間ボトルをよく振る。
- 6) 主剤のノズルの先端をカッター等で補修箇所に合わせてカットする。
- 7) 補修箇所に注入する。

使用 方法
(増粘材使用時)

- 1) 使用する直前にアルミパックから主剤と硬化剤を取り出す。
- 2) 主剤のキャップを外して、3プッシュ硬化促進剤を添加する。
- 3) 主剤のキャップをしっかりと閉めて、1分間ボトルをよく振る。
- 4) 主剤のキャップを外して、硬化剤を添加する。
- 5) 主剤のキャップをしっかりと閉めて、1分間ボトルをよく振る。
- 6) 主剤のノズルの先端をカッター等でカットする。
- 7) 付属する計量カップに混ぜ合わせた樹脂を30ml 測り取る。
- 8) 測り取った樹脂を粉体が入っている容器に入れ、よく混ぜ合わせる。
- 9) 補修箇所に増粘する。

使用上の注意

- 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(汚れ、水分の除去)
- 2) **硬化促進剤と硬化剤を絶対に直接混ぜない。爆発的な反応が進む恐れがある。**
- 3) 主剤と硬化促進剤の混合を十分に行う (1分間の攪拌)。
- 4) 主剤と硬化促進剤の混合物に硬化剤を添加し混合を十分に行う (1分間の攪拌)。
- 5) 可使時間内に作業を終了する。
- 6) **10℃以上の環境下では、攪拌中に発熱し火傷の危険があるため、使用しない。**
- 7) シンナー、水を混入して使用しない。
- 8) 使用後の容器、残った接着剤は、産業廃棄物として処理する。

⚠ 注 意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。